



資料館だより

No.31
2010年
7月号

過去と未来がひびきあう

—ようこそ、エコミューズへ。

www.aozora.or.jp/shiryou/

あおぞら
財団付属

西淀川・公害と環境資料館

エコミューズ

大阪教育大学 社会文化講座 西淀川地域フィールドワークに45人参加

6月15日(火)、大阪教育大学の研修「西淀川地域フィールドワーク」を受け入れました。参加者は社会文化講座1回生・2回生と教員の皆さん、45名です。西淀川公害裁判についてのビデオ学習や、財団紹介を終えた後、4班(「自転車まちづくり」「福祉・環境保健」「ESD・環境教育」「歴史・まちづくり」)に分かれて西淀川のまちに出かけました。財団ビルに戻って、公害の語り部・和田美頭子さんと岡崎久女さんのお話を聞き、最後に班ごとに、今日知ったこと・感じたことを発表しました。



歌島橋交差点について解説中

大雨のなか、かけ足の行程でしたが、皆さんそれぞれに、西淀川のさまざまな顔、西淀川の過去・現在・未来、いろいろなことを感じ取ってもらえたことが伝わる発表でした。

大阪市立西淀中学校2年生200人に 西淀川公害の授業を実施



体育館で授業をしました

大阪市立西淀中学校で6月24日(木)に西淀川公害のお話をしました。5クラス全員の生徒約200人が体育館に集まりました。西淀中学校からは以前、保健室に保管してあった

1960年代後半の資料提供を受けたことがあります。当時の校長先生が生徒の体調の異変に気づき、健康調査やイチヨウの葉っぱの調査をしたときの資料です。西淀中学校の授業では、こうした資料や校長先生のご紹介もしました。

これから中学生たちは、患者さんの話を聞いたり、自分たちで調べ学習をして、文化発表会に成果を発表するそうです。

全国あちこち訪問してます 大気汚染の裁判資料 所在調査

四日市公害裁判以降に行われた、公害認定病患者による大気汚染公害裁判はいくつあるか知っていますか。千葉、大阪・西淀川、川崎、倉敷・水島、尼崎、名古屋・南部、東京と7か所ほどあります。それぞれの裁判で証拠が提出され、証人尋問が行われており、資料が膨大にあります。裁判の資料は、被害の様子や



埼玉大学共生社会教育研究センター

汚染の科学データ、企業の対応、歴史的背景など、論点ごと



神奈川県立川崎図書館の外観

に整理されており、後世に公害を伝えていくための基礎資料として役に立ちます。

今年、環境再生保全機構の請負事業として、「大気汚染と裁判」のホームページコンテンツをエコ

ミューズで作成しており、裁判資料はどのように残され、どこで利用できるかを各地域に調査に行きました。

公共機関や大学への寄贈や、まちづくり組織での保存など、各裁判によって様々ですが、資料は残されていることが確認でき、ホッとしています。

これからは、裁判資料が活用されるために資料解説が求められてくるでしょう。資料が保存され、活用されるような土台を作っていきたいと思います。

■裁判の場所と関係資料の保存場所

- 【四日市】四日市環境学習センター
- 【千葉】埼玉大学共生社会教育研究センター
- 【大阪・西淀川】西淀川・公害と環境資料館(エコミューズ)
- 【川崎】神奈川県立川崎図書館
- 【倉敷・水島】みずしま財団
- 【尼崎】尼崎市立地域研究史料館
- 【名古屋・南部】調査中
- 【東京】渋谷合同法律事務所

もりもとまきの アーキビストの目

★★★所蔵資料紹介★★★

写真で知る倉敷大気汚染公害 —『水島の公害』—

エコミュージズでは、西淀川だけでなく、四日市、千葉、川崎、倉敷、尼崎、名古屋南部など、全国各地の大気汚染公害の資料も所蔵しています。そのなかから今回は、倉敷医療生活協同組合編『水島の公害』(手帖舎、1991年)を紹介いたします。

倉敷大気汚染公害は、1960年代に本格的に操業、急速に規模を拡大した水島コンビナートからの排煙によっ

て引き起こされました。製鉄所、石油化学工場、発電所などから排出される煤煙は、自然豊かな美しい瀬戸内のまちを一変させ、多くの住民が慢性的な呼吸器疾患に苦しむようになりました。

この本は、そんな公害地域に生きる、当時のひとびとの姿を捉えた写真集です。背中をかかめ、息苦しさにも耐える女性。発作の苦しさに、ベッドの柵を握り締める老人。煙がただよう空の下で、サッカーボールを追う少年たち。少しでも体力をつけようと、乾布摩擦を練習するぜん息児童。タスキをかけ、法廷に向かう原告患者たち—。

水島では今、「(財)水島地域環境再生財団(みずしま財団)」が公害地域の環境再生に取り組んでいます。きれいな空気と澄んだ空の下で、すこやかに



写真が伝える、水島の願い

生きたい—そんな願いの原点を知ることが出来る1冊です。

ブログ版 <http://aozorabsw.exblog.jp/i11/>

アーキビストとは、文書や資料の収集・整理・保存に関わる専門家のことです。

大阪歴史博物館特別展 「新淀川100年 水都大阪と淀川」

エコミュージズ所蔵の写真資料が、この秋に展示されます！
淀川を背に撮影したスナップ写真、川沿いの工場群の写真など昭和時代の資料を提供しております。

●会期 2010年9月18日(土)～11月15日(月)

●会場 大阪歴史博物館6階 特別展示室
電話 06-6946-5728(代表) FAX 06-6946-2662
(大阪市中央区大手前4-1-32)
[最寄駅]地下鉄谷町線・中央線「谷町四丁目」駅下車 ⑨号出口前

●開館時間 午前9時30分から午後5時まで(火曜日休館)
ただし金曜日は午後8時まで(入館は閉館の30分前まで)

●観覧料 大人 600(540)円
高大生 400(360)円

※()内は20名以上の団体割引料金
中学生以下、市内在住の65歳以上、障害者手帳をお持ちの方(介護者1名を含む)は無料

お知らせ

エコミュージズ活動資金
【ハモン基金】

寄付協力のお願い

エコミュージズを支えてください。あなたの寄付金は青空へつながります。

●寄付の方法

郵便局からお振込いただけます。また、直接エコミュージズにお越しください。結構です。

【口座番号】
千円
【二口】十万円／一万円／

0124893

【加入者名】あおぞら財団
※通信欄に「ハモン基金への寄付」とご記入ください。一口の金額はお選びください。

ボランティア隊

「エコミュージ★」募集

あなたも「エコミュージ★」に入っちゃおう！資料整理や展示、イベントの手伝いなど、活躍の場がいっぱいです。交通費●実費支給(上限2000円)
どうぞお気軽にお問い合わせください。



エコミュージズの活動は
Hamon基金によって支えられています。



エコミュージズは
青空を未来へ手渡す記録のひろば

西淀川の公害・環境、地域に関する記録資料や環境学習の教材・ビデオなどが豊富です。ぜひご利用ください

開館 ●月曜日、金曜日(祝日は休み)
10:00AM～5:00PM [要予約]

利用 ●図書の出し入れ期限は2週間
書庫資料や裁判記録は閲覧のみ

編集後記

2006年3月の開館以来、この6月でエコミュージズの来館者は1500人(累計)に達しました！

なんだか実感がわきませんが、大きな数字だなあとと思います。みなさまのおかげです。どうぞ今後ともよろしく願いいたします。(Y)

資料館だより No.31
2010年7月号(隔月1日発行)

発行所 あおぞら財団付属
西淀川・公害と環境資料館
(エコミュージズ)

連絡先 大阪市西淀川区千舟1-1-1
あおぞらビル5F(〒555-0013)

TEL:06-6475-8885 FAX:06-6478-5885

Email: webmaster@aozora.or.jp

<http://www.aozora.or.jp/shiryou/>